

Press Release

Jan 13, 2021 | ID: 21-V004

ボルボ・カーズが地元イェーテボリと協力し、 クライメートニュートラルな都市づくりを支援

本プレスリリースは、1月12日スウェーデン本社発の翻訳版です

ボルボ・カーズは、2030年までにクライメートニュートラルな都市の実現を目指し、スウェーデンのイェーテボリ市と協力して、将来の持続可能な技術の実証基盤として使用される新しい都市ゾーンの創設を目指します。

イェーテボリ・グリーン・シティ・ゾーンと呼ばれるこの取り組みは、スカンジナビア最大の港湾都市内に、さまざまなクライメートニュートラルな交通手段と接続されたインフラを備えた、完全に排出ガスを排出しないエリアを確立することを目指しています。

実際の都市をテストの場として使用することで、ボルボは電動化、共有モビリティ、自動運転、コネクティビティ、安全性の分野での技術やサービスの開発を加速させることができます。実証基盤の一環として、ボルボは、自社所有のモビリティプロバイダーMが運営するロボタクシーをゾーン内で稼働させる予定です。

ボルボ・カーズのCEOであるホーカン・サムエルソンは、次のように述べています。「基本的には、街中での自動車の台数を制限するプロジェクトを開始することになります。このことは我が社の目的に合致するものです。既に、効率性と利用率を向上させるために独自のAI技術を開発した、シェアードモビリティサービスMへの投資で証明されている通りです。私たちは、未来の都市の創造に関与し、住みやすい都市を維持したいと考えています。今回の取り組みは、そのための機会を与えてくれると同時に、自分たちの地元に対して責任を持つことができます」。

テストされる技術の例としては、ゾーン内の車が電気だけのモードで動作し、制限速度内に留まることを保証するジオインーブルソリューションやサービス、車のアクティブセーフティ機能に接続し、道路利用者間で情報を共有することができる交通インフラなどが挙げられます。

ボルボ・カーズの最高技術責任者であるヘンリック・グリーンは、次のように述べています。「私たちの知識と技術を使って、電動化され、接続され、共有されることにより、クライメートニュートラルな未来の都市の創造に貢献したいと考えています。これは実例から物事をリードするチャンスです。大規模な環境で新しい技術やサービスを実際にテストすることで、ここで可能であればどこでも可能であることを示すことができます」。

その他の可能性のある例としては、完全な電動モビリティハブ、電気自動車のための完全で使いやすい充電ネットワーク、自動運転タクシーなどが挙げられます。

クライメートニュートラルへの移行を阻む主な障害は、気候に優しい技術やスマートな技術の不足ではなく、それらを実行する能力の不足です。変革には、イノベーションを促進するための全体的なアプローチと、すべてのステークホルダー間の深く継続的な協力が必要です。

ボルボは、このイニシアティブの計画段階から積極的な役割を担っているため、最初からゾーンが電動化モビリティサービスを統合し、生きた環境で展開され、持続可能性の目標へ影響力を高めることを保証することができます。

2020年に、モビリティプロバイダーMは、独自のAI技術を通じて、イエーテボリの混雑を減らし、排気ガスの排出量を減らすことが証明されており、Mから配車される1台は、現在、市内の民間所有の8台の車に取って代わることができます。イエーテボリ市と同様に、ボルボ・カーズも2040年までにクライメートニュートラルな企業になることを目標に、二酸化炭素排出量を継続的に削減しています。この目標を実現するために、ボルボ・カーズは2025年までに達成すべき多くの目標を設定しています。

具体的には、自動車1台あたりのCO₂排出量を40%削減すること、全世界での販売台数の50%を完全電気自動車、残りはハイブリッド車にすること、製造や物流を含む同社の事業全体で発生する二酸化炭素排出量を25%削減することなどが挙げられます。

グリーンシティゾーンの取り組みは、2021年春から開始し、順次拡大していく予定です。

ボルボ・カー・グループ(ボルボ・カーズ)会社概要

ボルボ・カーズは、1927年に創業した高級自動車ブランドの一つです。2019年度において営業利益143億SEK(スウェーデン・クローナ)(前年:142億SEK)、売上高2,741億SEK(前年:2,527億SEK)を記録しました。2019年通期の世界販売台数は、前年比109.8%となる過去最高の705,452台(前年:642,253台)を達成しました。2019年時の正社員数は41,500人で、本社、製品開発部門、マーケティング・総務部門の主な拠点はスウェーデンのイエーテボリにあり、アジア太平洋地域本社は中国・上海にあります。主な生産拠点は、イエーテボリ(スウェーデン)、ゲント(ベルギー)、サウスカロライナ州(米国)、成都および大慶(中国)で、そのほかショブデ(スウェーデン)と張家口(中国)にエンジン工場があり、オルフストローム(スウェーデン)に車体部品工場があります。ボルボ・カーズは、新企業目標「Freedom to Move(モビリティの自由)」のもと、個々のニーズを満たせる持続可能で安全なモビリティをお客様に提供することを目指しています。この目標のもと、今後5年間での電気自動車の世界販売台数50%の達成や、収益の半分をダイレクトコンシューマービジネスで生み出すことなど、当社の多くの戦略にも反映されています。当社は2040年までにクライメートニュートラルを実現することを目指し、CO₂排出量の継続的な削減に取り組んでいます。

報道関係お問合せ先

ボルボ・カー・ジャパン マーケティンググループ 広報チーム

vcjpr@volvocars.com

Related Images



[More Images >](#)

Copyright © 2021 Volvo Car Japan Limited